



年始の挨拶

沖縄県宗務特別区
所長 久留島智祐

令和8(2026)年の新年にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。沖縄特区内寺院の皆さまには、本願寺沖縄別院の護持発展に並びに沖縄特区の宗務推進に各段のご協力を賜っておりますこと、誠に有難く厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、第2次世界大戦(アジア・太平洋戦争/沖縄戦)が終戦して80年という節目を迎え、沖縄特区として、「太平洋戦争全戦没者」を主さまご臨席のもと修行し、法要最後には、お言葉を頂戴いたしました。改めて、いのちの尊厳をふみにじる



《2026冬・第129号》
 浄土真宗本願寺派
 発行 沖縄県宗務事務所
 発行人 久留島智祐
 〒900-0005
 沖縄県那覇市天久2-18-2
 電話 (098) 860-7009
 ファックス (098) 860-7469
 mail ameku2182@yahoo.co.jp

戦争の悲惨さを風化させないこと、「非戦平和」への誓いを新たにしたい。この縁となったことを存じます。

さて、今年2月に冬季オリンピック・パラリンピック、6~7月にはワールドカップがあり、その他にもワールド・ベースボール・クラシック(WBCL)や、愛知県でアジア競技大会が予定されているそうです。スポーツファンのみならず、開催を待ち望んでおられる方も多いのではないのでしょうか。

その一方で、現在もロシアによるウクライナ侵攻は止まず、中東における武力衝突や緊張状態も依然として続いております。オリンピックやW杯等の華々しい舞台での熱気や歓声に、世界各地で行われている戦争や紛争によって、いのちを奪われ、傷つき、苦しみ悲しまれている人々の叫び声がかき消されないことを願います。

戦後81年をむかえる本年。自国優先主義による世界の分断などの報道がなされるなか、以前あるタレントがテレビ番組で発言した「新しい戦前になる」という言葉を思い出しました。

しかし、私たち念仏者は、過去の教団の歴史を省みて、私たちがいま何をなすことができるのかを常に問い続けることが大切であると考えます。そして、これからも「非戦平和」のメッセージを発信し続けてまいりたいと存じます。

最後に本年も、お念仏のみ教えをよりどころとし、それぞれが「自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」歩みを進めていただき、報恩感謝の日々を送ってまいりましょう。



除夜会



昨年12月31日(水)、沖縄別院、久米島布教所にて除夜会を修行し、多くの方にご参拝いただきました。沖縄別院では、午後11時修行の除夜会後、久留島智祐輪番が新年を迎えるにあたっての挨拶を行い、除夜の鐘をつき始めました。

別院には約600名がご参拝され、皆さんは思い思いに1年を振り返りながら梵鐘をつき、賑やかな雰囲気の中、新年をお迎えすることができました。

また、ご門徒の皆さんのお手伝いによって、温かい飲み物や参拝記念としてのカレンダー、子どもたちにはお菓子の配布をしました。

久米島布教所では午後11時30分から除夜会を修行しました。

参拝の方々がカウントダウンをはじめ、午前0時ちょうどに除夜の鐘を開始。皆さんは笑顔で鐘をつき、大人にはお屠蘇、子どもたちにはお菓子を配りました。



夕刻から久米島ではテントが飛ばされるほどの雨天強風となったため、参拝



者に来られるか心配しましたが、深夜1時近くまで多くの家族連れが来られ、気が付けば100名超の方々にご参拝いただきました。



久米島布教所の除夜会





沖繩別院のおもちつき

威勢のいい「よいしょ！」の掛け声と共に順番に

昨年12月21日(日)は沖繩別院で、28日(日)は久米島布教所で年末恒例「もちつき大会」を開きました。まず仏さまにお供えする鏡もちを作り、皆で食べるもちをつきました。沖繩別院では、門信徒、関係者、伊祖自治会の方々にお手伝いいただきました。多くの方が参加され、

もちつき大会

つきました。初めて杵を持った子

たちは、重さにふらつきながらも一生懸命つきました。その後、参加者全員で美味しいもちをいただきました。

これもまた恒例となった伊祖自治会「英祖キッズ」の皆さんによる太鼓演奏が行われ、お腹も心も満たされる、にぎやかな「もちつき大会」でした。



油でいただきます。子どもたちは何度もお代わりをし、職員は「そんなに食べる

久米島布教所は快晴の暖かな日となり、一昨年以上に多くの方が参加されました。今回も航空自衛隊久米島分屯基地の皆さんにつき手としてご協力いただきました。最初に大人たちが蒸し上がったもち米をつぶしこね、準備ができると子どもたちの出番です。大人がついている間に、もちをつきたい多くの子が列を作っていました。

久米島布教所のおもちつき



の？」と驚かされました。鏡もちは年末年始の間、仏さまにお供えします。また、近隣の老人ホームにお配りしました。

新旧の宗務事務所長・別院輪番が事務引継 中岡前所長・輪番から 久留島新所長・輪番の新体制へ



挨拶のあと、花束と記念品を受けとられる中岡前所長・輪番

昨年12月9日(火)沖繩別院にて、新・旧の沖繩県宗務事務所長および本願寺沖繩別院輪番の事務引継を行いました。その後市内のホテルに会場を移し、18時30分から歓送迎会を催し、沖繩特区内から多くの方々にご参加いただきました。初めに中岡順忍前所長・輪番か

ら挨拶をいただきました。前所長・輪番は沖繩特区で宗務に尽力された4年7か月を振り返り、「沖繩県宗務特別区親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」「沖繩開教事務所設置50周年記念法要」「本願寺沖繩別院親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」「本願寺沖繩別院設立20周年記念法要」「太平洋戦争全戦没者・沖繩戦終戦80年追悼法要」等の修行について思い出を語られました。参加者を代表して沖繩別院総代の石川八代子さんと山川伸幸さんから花束と記念品が贈呈されました。次に新たに就任した久留島智祐



久留島新所長・輪番



中岡前所長・輪番

職員一同は中岡前所長・輪番にお育ていただいたことを胸に、久留島新所長・輪番のもとで、よりいっそう宗務にまい進いたします。新体制となり、前所長・輪番の熱い思いを引き継ぐ旨の所信を表明しました。



上) 挨拶される大城責任役員
下左) 全員で合掌し、食前の言葉
下右) 和やかな歓談の時間



務にまい進いたします。新体制となり、前所長・輪番の熱い思いを引き継ぐ旨の所信を表明しました。沖繩別院を今後ともよろしく願っています。